

新しい雑誌がはりました！！

『うかたま』(季刊誌)

…食の知恵や暮らしのあり方を紹介

『山と溪谷』(月刊誌)

…山や登山、自然の魅力を紹介

『手をつなぐ』(月刊誌)

…知的な障害のある当事者(本人・家族)に
関しての教育・福祉・労働等々の諸施策を紹介

*4月から、各雑誌の配置を一部変更しています。

ご利用の際は、ご注意ください。

65歳以上の直方市民で、

元気ポイントカードをお持ちの方

直方市立図書館主催の講座・講演会・おはなし会などが、
元気ポイント対象事業になりました。参加されると、元気ポイント
が付きまます。20ポイント集めたら商品券と交換できます。

***元気ポイントカードの申込は、直方市地域包括支援センター**

(直方市役所5階・25-2391)まで。

展示のお知らせ

3/28(木)~5/28(火)

*一般書展示コーナー『もしも』に備えよう』

*児童書展示コーナー「こまったときはどうする？」

中高生向け図書館誌「Bookworm」2024年版発行！

「大の本好き、本の虫」という意味で名付けた「Bookworm」。
今回は、①賞をとった本、②自分と向き合う、③生きものの
本、をテーマに特集しています。4月中は、配布と合わせて本
の展示も行っていますので、ぜひご覧ください。

直方市立図書館 TEL. 0949-25-2240 直方市山部 301-11

開館時間 火~土 10:00~19:00、日・祝 10:00~17:00

ホームページが
新しくなりました！

のおがた元気
ポイント対象！

図書館 カレンダー・イベント

4月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

◆:筑豊文庫資料室 ◎:ユメニティ会議室3 ♥:図書館前ロビー
★:ユメニティ小ホール 他:図書館おはなしコーナー

- 6(土) 14:00 おはなし会(やまびこ会)
- 9(火) 11:00 乳幼児向けおはなし会(麦のこ)
- 19(金) 10:15 ◆大人の朗読講座 ※要事前申込
- 20(土) 11:00 おはなし会(赤ずきん)
- 21(日) 10:00 ♥おもちゃ病院(受付13:00まで)
- 10:00 ★春のわくわくとしょかん教室 ※要事前申込
- 27(土) 11:00 おはなし会(まほうの箱)
- 28(日) 11:00 おはなし会(図書館職員)

5月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

- 11(土) 14:00 ★映画上映「ジュディ 虹の彼方に」118分
(土曜シアター)
- 14:00 ◎認知症カフェ図書館(ファイブ・コグ検査)
※要事前申込
- 14(火) 11:00 乳幼児向けおはなし会(麦のこ)
- 17(金) 10:15 ◆大人の朗読講座 ※要事前申込
- 18(土) 11:00 おはなし会(赤ずきん)
- 19(日) 10:00 キッズフェスティバル☆としょかん
*おもちゃ病院、おはなし会、ブックリサイクル開催予定
- 26(日) 11:00 おはなし会(図書館職員)

太字は17時閉館、■は休館
○はイベントがある日

毎月、一つのテーマに沿って図書館司書が本を紹介します。

4月号のテーマ「ひざし」

※（ ）内は各司書のペンネームです

『太陽がもったいない』 山崎 ナオコーラ：著 914 ヤ

南向きの日当たりのいい部屋に引っ越したことをきっかけに、ベランダ菜園にはまった山崎ナオコーラさん。太陽が強く照っているときの時間がもったいなく感じられ、光の降りている場所に植木鉢を置き、移動させるほど熱心だ。植物の成長を見守りながら、人間の仕組みや宇宙についてまで考察してみたり、時には人生と重ねてみたりする。自分も植物を育ててみたくなる1冊。(ペコ)

『はるのくさばなあそび』

佐野 高太郎：写真 K470 ヒ

ひざしの輝く春がやってきました。野原に出かけて草花あそびを楽しみましょう♪

れんげそうで花かんむりを作ったり、ふきのはっぱのおめでおばけに大変身！？たんぽぽのわたげをびんづめにしたら、どうなるかな・・・？

かわいい植物の写真と、のびのびとあそぶ子どもたちの姿が満載で、思わず深呼吸したくなる1冊です。
(K)

『あの日交わした永遠の誓い』

小粋：著 YF コ

暖かな日差しが降り注ぐ中2の春に出会った花乃と響は、両想いとなり付き合うことに。

高校に入り、親友たちとともに楽しい日々を過ごしていた2人だったが、持病が悪化し死期を悟った花乃は、それを隠すため、好きな人ができたと嘘をついて別れを選ぶ。

20歳となり、別れてもなお、花乃を一途に想う響に告げられた真実に胸を打たれる。(ダック)

『暮らしをつむぐ』

坂井より子：著 590.4 サ

隣の芝生は青く見えるけれど、少し目線をずらして我が家に目を向ければ、きっといいこともあるはず。

誰かの家がこうしているからではなく、自分の中で居心地がいいように生活する。家事は自分が楽しめる方法で。

忙しいとつい余裕がなくなってしまうけれど、暮らしを楽しむことの大切さを改めて感じ、読んだあと、気持ちが温かくなりました。(る一)

『リパの庭づくり』

福井 さとこ：作・絵 K913 フ

春のある日、庭師のリパがリシュカおばあさんの家に行くと、きれいな庭が荒れ果てていた。あることが原因で家から出ないおばあさんの代わりに、リパが庭の手入れを始める。

暖かな日差しの中で行う「庭の手入れ」により、植物や虫たちがお互いに助け合って生きているのだと感じられる物語。徐々にきれいになっていく庭とともに、こちらの心も明るく、澄み渡っていくような一冊です。(京)

『日本の色 世界の色 — 写真でひもとく 487 色の名前』 永田泰弘：監修 757.3 ナ

太陽の光の色は、白色なのだそう。そう言われれば確かにそうなのかもしれない。

しかし、漠然と抱いていた陽射しの色とは違う。赤か黄か金か、何となくそんな気がしていた。本書の、白・ホワイト系の色の中にも陽射しを表す言葉はない。

「東雲色」は、あけぼのの空。「茜色」は、夕焼けの空。

ぱらぱらとめくって写真をながめ、ぼんやりとにまみりするのも楽しい。(キャラメル)